

資 料 提 供
令和3年2月19日(金)
金沢城・兼六園管理事務所
電話 234-3800
(県庁内線6537)

兼六園「姫小松」後継木(三代目)の植栽について

平成28年9月に枯死した特別名木「姫小松」(二代目)の後継木(三代目)を植栽します。

記

1 後継木(三代目)について

梅林に植栽されていた同種のマツで、平成29年1月より根回しなどを行い、移植に備えてきたもの。

現在の大きさは、樹高6.5m、幹周0.85m、枝張4.0m。

2 植栽工事の実施

今月24日(水)から26日(金)の間で請負工事により実施予定。

吊り込み等の重機作業は早朝に行い、来園者への影響を最小限とする。

(参 考) 「姫小松」の来歴

(初代)

・前田利家が1583年に金沢城に入った際に、兼六園の前身となる宝円寺の境内に植えたと言われる言い伝えがあり、特別名木として取り扱ってきたもの。

・平成7年6月に老化のため枯死、伐採。

(二代目)

・初代の樹勢が衰え始めた昭和45年に同種の若木を初代横に植栽

・平成28年9月にシロアリによる根の食害のため枯死、伐採。